



こんなことあったよ！ のしろ白神ネットワークの活動レポート

平成 27 年 7 月 14 日(火)

木の香る道を花いっぱい 編

のしろ白神ネットワーク発足後の 2007 年、ロゴマーク作成より先に取り組んだ「木の香る道づくり」の第一弾が、木高研と(株)GK京都、相澤銘木(株)のコラボレーションによる木製プランターカバーの開発でした。そのコンセプトは次の 3 点です。
①一般流通品より多少値段は高くても、木材の加工技術やデザインの良さが感じられるもの②木材の長所を生かし、短所は異素材で補う③個人でもイベントでも使用できるもの

こうして、湾曲タイプ(商品名:わたし曲がっています)、ティッシュボックスタイプ、足つきタイプ、ベンチタイプ(商品名:E ベンチ)が誕生し、普段は上町すみれ会の会員宅や木高研エントランスで、まち灯りや大学祭などのイベントでは会場の彩りとして活用されてきました。

また、木高研の足立幸司先生が銀座ミツパチプロジェクトで開発されたハニカムプランターは、秋田県内では(株)ウッディさんないが間伐秋田スギで製作・販売を開始しています。六角形であるほかは大きさや高さを変えられますので、用途に応じて、使用者のアイデア次第で色々な展開が可能です。木高研では昨年から NEXCO 東日本秋田管理事務所と休憩施設の木材利用に関する共同研究を行っていることから、秋田道の八郎湖サービスエリアと太平山パーキングエリアの植栽にも使っています。

これら製品をお花好きな方々に使っていただき、広く知っていただけたら「木の香る道」が「花いっぱいの美しい道」ともなっつながっていきと考え、能代市昇平岱にある生花店・花まりのご協力をいただき、店頭展示を始めました。来店されたお客さんが展示品をご覧になって、花苗と一緒に購入していただくのが理想です。

なお、2 つの製品は秋田県木材加工推進機構のFB(6 月 16・25 日、7 月 29 日)にも紹介されています。

文： 渡辺 千明



木高研エントランスで使われているティッシュボックスタイプ(上)と湾曲タイプ(下)。



湾曲タイプは今年の春から、姉妹街道である会津若松市の七日町通りでも使われて、国民文化祭に彩りを添えています。



八郎湖サービスエリアは苗を植えたばかりで、まだ製品の魅力が伝わってきません。今後は展示の工夫や販売につながる PR 方法も考えていく必要があります。



展示後早速、この苗とプランターのセットが売れました！販促物も用意して、色々なアレンジで店頭提案していけたら楽しいのではないかと考えています。

相澤銘木(株)HP: <http://www.yamaharu-wood.co.jp/>
秋田県木材加工推進機構 FB: <https://www.facebook.com/mokusui>
(株)ウッディさんない HP: <http://www.a-woodyland.jp/index.php?id=73>
銀座ミツパチプロジェクト HP: <http://www.gin-pachi.jp/>
(株)GK 京都 HP: http://www.gk-kyoto.com/information_j.htm
花まり HP: <http://hanamari.com/>